

地質ニュース

昭和 50 年 6 月

第 250 号

1975

解 説

深海底マンガン閉塊鉱床と

深海用グラフ型採泥器：OKEAN-70……………丸山修司・1
木下泰正

昭和49年度の海外関係業務をふりかえって

……………海外地質調査協力室・8

地質調査所における地形図⑥北海道編……………地形課・13

秋田大学鉱山学部 鉱業博物館……………小村幸一郎・18

海外事情

マッシュ・サントラルの旅……………津末昭生・24

シベリアと極東のガラス原料資源②……………岸本文男・30

タイの地質に関する会議①

～チェンマイ大学 1973年～……………沢田秀穂・43

東南アジア諸国の鉱業の現状'73……………松井寛訳・48

学会掲示板……………7

地学と切手……………P. Q.・42

編集 地質調査所

表紙の写真

中新世の貝類化石

関東山地北部の栃木県塩原地方には古くから日光火山や高原火山とともに第三紀や第四紀のいろいろの岩石が分布することが知られている。掲載の化石は栃木県塩谷郡塩原町におもに分布する鹿股沢層群の緑色凝灰質砂岩に多産する *Dosinia kaneharai* YOKOYAMA と呼ばれる二枚貝類の仲間である。 *Cardium shiobarensense* YOKOYAMA などの二枚貝類とともに塩原動物群 (Shiobara fauna) として知られる中新世後期の温帯性浅海型貝化石群である。 *Amussiopecten*, *Venericardia panda*, *Paphia*, *Umbonium*, *Conus* などの化石を含む温帯ないし亜熱帯性の掛川動物群 (Kakegawa fauna) とは対照的である。

Dosinia は二枚貝綱 異齒亜綱 Veneroida 目の1属 「マルスダレガイ科」 (Veneridae) に属する。殻は左右相称で表面には明瞭な成長線が発達するが放射状の肋はない。一般に第三紀に入ってから出現したと言われているが特徴種が多いので日本では層序学的に重視される属である。

(文 神戸信和 写真 正井義郎) 倍率約1.2倍

発行 株式会社 実業公報社